

基本データ

日時：2018/12/22 10:00~12:10

場所：大学会館2F多目的ホール

運営体制：学生委員会CIEL

職員2名 | 学生委員13名

参加者数：22組44名(保護者 | 新入生)

目的/概要

推薦入試で合格した新入生に、大学の授業や学生のライフスタイルを紹介し、大学生活へのイメージをつかんでもらう事で、入学までの期間で何をすべきか？を考えてもらう。

コンテンツ

- ・高校と大学の違いについて 田口 (25分)
- ・下宿生/自宅生の暮らし紹介 青木、山田 (25分)
- ・大学生の食生活について 林 (15分)
- ・学生のパネルディスカッション (30分)
- ・生協職員の話 柳澤 (20分)
- ・班毎での昼食(学生も参加) (50分)

01 説明会全体の進め方

グループ交流を重視した説明会

各班4~6人(2~3組)毎に学生を1又は2名を配置、コンテンツ毎にグループ交流の時間を5分程度確保し、参加者同士の会話を重視した説明会でした。班構成はランダムに選出していた様子です。食生活のコンテンツでは「食事は生活の基本」というキーワードで自宅生に対しても「自炊」の提案が出されていました。



各班毎で参加者同士、若しくは参加した親子同士で会話が弾んでいました。
※写真は食材の買い物場所を地図で説明している風景です。

02 アイスブレイクは高校と大学の違いを出し合う事から

グループ交流で参加者からキーワードを出してもらい、そのキーワードに対して高校と大学に違いを対比させてグループ交流をされていました。この場では新入生の高校生活も語られながら、それぞれのイメージを出し合い各班のCIELメンバーが大まとめ、班の中で参加者が反しやすい雰囲気づくりをされていました。

高校		大学
----	--	----

敷地面積、授業時間...参加者が思いつくキーワード+CIELから追加して比較もしました。

03 学生パネルディスカッション

パネラーは1~4回生。回生毎に思いを語る。

パネラーに対して投げられた質問に答える形式で進められましたが、会場から就活についての質問が出ました。卒業後のなりたい自分をイメージしている新入生参加がありました。その他印象に残った講義など大学の授業をイメージできる事や、入学までにやっておくと良いこと等入学までの準備イメージも語られていました。

質問内容

- ①大学に入った理由は？
- ②印象に残った講義はどれ？
- ③推薦合格後、入学までに何をやる？
- ④大学生活で何が大事か？
- ⑤就職活動ってどんな感じ？
- ⑥大学に入って成長できた事は何か？
- ⑦学生生活で影響を受けた人は誰？

訪問者からひとこと

聞くだけで終わらない説明会の作り込みは良いのですが、参加者目線での言葉の選び方、リハーサルを重ねる等の作り込みに課題を感じました。一般に向けては見られる事を意識したリハーサルをされると良いのではと思いました。



関西北陸ブロック
[竹田]

